

2月の植物

アオモジ *Litsea cubeba* (Lour.) Pers. (クスノキ科)

早春の花としてはウメやロウバイが有名。しかし、アオモジも負けていない。佐賀県西部の丘陵地には2月後半には黄色い花が満開になる。樹高3mほどの落葉樹。幹はすべすべして、葉は細長い菱形で薄く縁にぎざぎざはない。黄色い花弁は5枚。雌雄別株なので雄花と雌花が別々の木に咲く。花を手にとってよく見ると雌雄の区別がつく。花期は2-3月。クロモジの仲間では枝を折るとよい香りがする。和菓子の楊枝としてクロモジ楊枝は誰もが知るところであるが、クロモジが手に入りにくい地方ではアオモジを代用しているところがある。クロモジと比較して遜色はない。尚、本県のクロモジ類はケクロモジとウスゲクロモジで山中に生育する。アオモジの九州での分布の中心は九州の西で九州西回りの植物とされ、以前は天山中腹辺りが北限であったが、現在は福岡県、大分県、宮崎県にも見られるようになった。全国的には岡山県や徳島県まで分布が拡大しているが、これは主に鳥による分布拡大と思われる。また、植栽から広がったものとして奈良県や千葉県にも見られるようになった。佐賀県の方言名はコッショウノキ。 (井手義信)



2017. 2. 2 伊万里市桃川 蕾の状態 (円内は3月満開)